



No.3182

第3499回例会
平成28年9月28日

DISTRICT 2500

OBIHIRO

ROTARY
CLUB

方針 COOL ROTARY

会長 佐藤 真康

2016-17年度国際ロータリーのテーマ 人類に奉仕するロータリー

■会長報告



佐藤 真康 会長

今日は帯広南ロータリークラブから米山記念奨学生の崔楊さんが来られています。心より歓迎申し上げます。そしてカウンセラーの佐藤みゆきさんですが、夫婦でロータリアンです。旦那さんは確か北クラブだと思います。2500地区では珍しいケースですね。

実は、RIでは夫婦でのロータリーへの入会を推奨しています。黄さんがRI会長の時、「自分の配偶者をロータリーに勧誘することは、単に会員数を増やすということだけにとどまるものではありません。ロータリーは依然として女性会員より男性会員がはるかに多いという現実と向き合うことであり、そして、私たちが取り組まなければならないことでもあるのです。」とメッセージを出しています。

そのようなこともあり、「ロータリーの友」2014年12月号では夫婦で共にロータリアンの企画が掲載されました。夫婦でロータリアンの場合、別のクラブに入っていることが多いようですが、中には同じクラブに入っているケースがあり、その場合は同じクラブのロータリアン同士が結婚してそのまま在籍するというものがあります。

先週は職場訪問例会ということで、日産さんを訪問しました。新鮮な驚きがあり、いい例会だと思いました。その際説明のあった「自動運転」ですが、先日NHKで「自動運転革命」という番組がありました。半分は日産さんの紹介でしたが、いま世界ではドイツがこの分野で一歩リードしているとのことでした。ぜひ、日本のメーカーもドイツに追いつき、追い越してほしいと思います。

以前、皆さんから協力いただいた台風に関する義援金ですが、先週足寄クラブの会長さんにお渡ししました。あと、芽室と清水クラブですが、市内5クラブと音更のクラブが共同して集めた義援金を、明日、幹事と一緒に届けてくる予定です。ご協力ありがとうございました。

■プログラム「会員卓話」
高道 伸 会員

プログラム委員会

皆さんこんにちは、平成28年3月9日に歴史と伝統のある「帯広ロータリー」に入会させて頂きました「高道」です。これから、自己紹介を中心に勤務先のお話をさせていただきます。

まず、私は「たかみちはじめ」と申しますが、漢字がそのまま「たかみちはじめ」と読める方はまずいらっしゃいません。長男なので「はじめ」とカナを振って出生届けを出したと、生前父親が申しておりました。昔は役所もずいぶん「おおらか」だったと思われます。

さて、私は平成17年4月より、宮坂建設工業株式会社に勤務しておりますが、昭和26年生まれの65歳で卯年のふたご座のA型です。家族は、本妻が1人、息子が2人おりますが孫はまだおりません。

平成12年7月から帯広に単身赴任しており単身生活17年目を迎えています。昭和45年に札幌北高校を卒業し法政大学経済学部に入學しましたが、時は東大紛争を契機として学生運動がもっとも過激化した時期であり、45.3.31、赤軍派が起こした日本航空ハイジャック事件(いわゆる「よど号ハイジャック」)、45.11.25三島由紀夫が憲法改正の為、自衛隊のクーデターを呼びかけて割腹自殺した「楯の会事件」、47.2.19、連合赤軍の起こした「浅間山荘事件」など数多くの事件が発生した時期で落ち着いた勉強に励むことは到底不可能であり、大学のロックアウトが延々と続き、レポート進級の繰り返しで、卒業論文も提出しないまま卒業いたしました。

そして、田中角栄の「日本列島改造論」による高度成長下による大量採用に救われ昭和49年「北海道銀行」に入社いたしました。その後、札幌市内中心に転勤し、平成16年宮坂建設工業株式会社に転出の後、平成17年転籍し取締役役に就任し現在に至っております。

私と帯広との関係についてですが、祖父が大正8年に現在の富山県砺波市から芽室町に入植し駅前で商売を開始し、しばらくは私の本籍も芽室町でありました。

私は3度帯広に移住しております。昭和32年から36年までの4年間、父親

9月14日例会 会員総数93名(内免除会員4名)

出席
報告

出席者数 65名

欠席者17名

マークアップ 11名

93 (名)

の勤務の関係で帯広幼稚園・帯広小学校に通っておりまして。昭和60年から64年までの4年間、現在のイオン(元のニチイ)の隣にありました北海道銀行西五条支店に勤務、平成12年から16年までの北海道銀行西五条支店・帯広支店勤務、そして現在に至っております。

続きまして、私の勤務する宮坂建設工業株式会社を紹介いたします。

弊社は、大正11年創業の本社を帯広に置き、札幌・釧路・東京に支店を置く、総合建築業者であります。創業者の「宮坂寿文」は道議会議員を3期務めており、現社長の宮坂寿文は平成5年に4代目社長として就任しております。完工高は平成26年度に250億円を達成しております。

弊社の関連会社としては、登寿ホールディングス(不動産企画・ダスキン事業)、(株)松本組、(株)平田建設、寿エンジニアリング(株)、北海道アールアンドアール(株)があります。

それでは、弊社の主な完成工事をご紹介します。まずは、土木関係から最初に新佐呂間トンネルです。北見市と佐呂間町を結ぶ国道333号線の全長4110Mトンネルです。次は、石山トンネルです。十勝清水町と日高町を結ぶ国道274号線の全長218Mのトンネルです。次は日勝トンネルです。十勝清水町から日高町を結ぶ国道274号線の標高1022Mに位置する全長722Mのトンネルです。次は、北海道新幹線の新茂辺地トンネルです。新函館北斗駅と木古内町の間の全長3345Mトンネルです。次は、道東道池田町信取工事です。この工事は池田町から足寄・本別方面への道東道延長工事です。次は、同じく道東道本別インターチェンジ工事です。この工事はNEXCO東日本の管轄区間の最終ICの工事です。次は、虹かけ橋工事です。この工事は国道38号線赤平市に位置する虹かけ橋の旧橋の架け替え工事です。最後は幕別町共栄北6線改良工事で、この工事は帯広広尾自動車道の更別ICから大樹への延長工事で路台盛土とボックスカルバート作成の工事です。

続きまして、建築関係の完成工事をご紹介します。まず最初は中札内中学校、大規模改修工事です。この工事は外断熱工法により内部に木質系材料の使用により温かみのある校舎に変身しております。次に上士幌町の認定こども園の新築工事です。この工事は、保育所と子育て支援センターの機能を合体させた施設で、道産材を使用した大断面集成材を柱や梁に使用しております。次に帯広市立豊成小学校新築工事です。この工事は、校舎の老朽化と稲田川西区への移転に伴うエコスクールとしての新築工事、太陽光発電・地中熱の利用のほか、自然採光や外断熱使用による省エネ化に取り組んだ校舎となっております。次に帯広畜産大学の改修及び新設工事です。詳細は後で長澤先生・奥田先生にお聞きください。総合研究等I号館、公衆衛生実習施設、国際学術交流施設、学生寮です。次にJA道東あさひ新事務所建設です。この工事は、根室管内4つの農協の合併発足による新事務所建設工事。この工事は、照明設備・冷暖房設備に於いて最先端システムを導入した建物です。次は道立噴火湾パノラマパークです。道内初のPFI工事であり、道民の大きな期待を担った自然環境への配慮を念頭においたオートキャンプ場等の公園施設です。次は、帯広市新図書館です。この工事は十勝の風土を活かしたデザインとゆったりとしたスペースを持たせて建設しており、帯広市民の文化のシンボル的な施設です。次は、帯広慈恵の里です。この施設は光南病院を核とする総合福祉村構想の一環として建設された、全て個室の特別養護老人ホームです。次は、あんじゅ音更です。この施設は十勝平野を一望できる音更町中鈴蘭の高台に位置する地域密着型の老人保健施設です。次は、帯広信用金庫中央支店です。帯広駅周辺の4店舗を統合した市内中心部の拠点となる店舗です。次は、ケアステーションアンダンテです。この施設はユニット型個室となった介護老人保健施設で入所100人、通所20人を受け入れます。次に、元気の里さるべつです。この施設は2ユニット18床の地域交流スペースを設けた地域密着型の施設です。最後は、「ななかまど」です。この施設は、モル温泉付きで外部はコンクリートを打ちっ放しにした地域密着型介護老人保健施設です。

続きまして、弊社の実施しているイベントをご紹介します。まず最初は、7月9日に開催した親子防災教室です。親子が一緒になって模擬AEDを使用した救急蘇生講習や災害時の対応を考えるゲーム、薬剤師による薬の飲

み方を学習するものです。続きまして、時局講演会の開催です。この講演会は平成20年から毎年開催しており、今年は7月19日、講師に元検事総長小津博志氏を迎え、1200人を超える参加で9年連続11回目を開催いたしました。次は、市民参加型「地域防災訓練」です。弊社では平成5年の釧路沖地震を契機に緊急災害出動のために全社挙げての訓練を開始しました。平成15年の十勝沖地震の被害を踏まえ、市民の皆さんに、二次災害防止、自然災害への啓蒙を図っていただく為に市民参加型の防災訓練に切り替えて実施しております。公開訓練では、自衛隊・警察・消防署・北電等のほか、各方面からの企業の協力の下、地震体験、瓦礫処理、救出訓練、煙体験、土嚢積み体験、バケツリレーの消火訓練のほか、炊き出し訓練によるカレーライスを2000食来場者に試食して頂いております。今年は9月14日開催予定でしたが、台風の影響による緊急災害出動要請対応の為、準備が出来ず残念ながら中止いたしました。

次に、事業継続計画いわゆるBCPについて紹介します。BCPの目的として4つ掲げております。「社員と家族の安全と雇用を守る」「本社・支店等自社保有施設の機能確保」「事業継続により顧客の信用を守る」「インフラ復旧により地域を守る」です。

主な緊急時対応実績ですが、まず平成5年の震度6の釧路沖地震による十勝川の堤防のひび割れと崩壊に関する復旧出動の様子です。その次は、平成15年の震度6弱の十勝沖地震による十勝川支流の牛首別川の堤防ひび割れと陥没に対する復旧出動の様子です。そのほか、弊社では「安全・品質・保証」に向けコスモス・ISOを取得しております。

それでは、8月中旬から下旬にかけて北海道を襲った「台風7号・11号・9号・10号」に対する弊社が実施した、災害復旧活動並びに被災状況をごらん戴きます。まず、足寄川の氾濫による浸水地区の土砂搬出と消毒作業です。次は、音更川の増水による堤防損傷の復旧作業です。続いて、新得神社橋の被災状況と復旧状況です。この復旧は24時間で完了いたしました。次は、道東道の十勝清水IC付近の路肩崩壊の復旧作業です。この作業も1日で完了しました。続いて、札内川と戸賀別川との合流地点の堤防の崩壊と洪水の復旧作業です。ダンプ8000台分の土砂と5000個を超えるコンクリートブロックを投入し5日間で復旧させました。安倍首相も来帯の折上空から視察されております。

それでは最後に、今尚、通行止めとなっております国道274号日勝峠の現況をお見せします。現在274号線の十勝清水側は7合目付近及び8合目付近で道路が陥没・崩壊しております。また頂上付近の日勝トンネル入り口では法面の土砂崩壊があり重機が入れないため手付かずの状況です。いずれにしても、日高側も橋脚が流されたり、隧道の陥没、路肩の崩壊等調査が進むにつれ、被害状況が拡大しているとの情報です。このような状況から、復旧には相当な時間と費用が掛かると思われ、当面は高速道路の無料措置は継続されると思われます。

以上で、私の取り留めのないお話を終了いたします。ご清聴誠にありがとうございました。

横山 聡 会員



北海道新聞の横山です。歴史と伝統がある帯広ロータリークラブの一員に加えていただき、三カ月が経ちました。まだまだ新参者ですので今後もご指導よろしくお願い致します。

本日は新入会員卓話の機会を与えていただき、誠に有り難うございます。新入会員卓話ということで、私の会社人生を簡単に紹介させていただきます。

私は1982年、昭和57年に道新に入りました。初任地は千歳支局です。その後、本社校閲部、苫小牧報道部、本社整理部、東京支社政経部、岩内支局長まで16年半、内外勤の別はありますが現場記者として働きました。1998年秋に本社整理部のデスクになります。デスクになると現場との間に距離ができるため、現役を引退したスポーツ選手にも通じる寂しさを感じたものでした。その後は、東京支社政経部と本社編集本部でデスクをつとめ、デスク生活は計11年です。それから編集本部委員を4年、東京支社報道センター長を1年、編集局次長兼編集本部長と総務担当編集局次長をそれぞれ1年務めて6月下旬に帯広支社長として赴任しました。編集部門での会社人生は34年に及びます。

もっとも思い出深いのは、東京政経部の記者時代です。1994年秋、自民党衆議会の担当記者として赴任しました。当時の取材対象は自民党政調会長だった加藤紘一さんでした。加藤さんは今月9日に亡くなりました。心

からご冥福をお祈りします。加藤さんの家に毎日のように朝回り、夜回りをしていました。とても頭の良い政治家で、旧来の政治スタイルを加藤さんなりに変えようと頑張っておられました。後に加藤の乱で表舞台から退きますが、当時はニューリーダーとして輝きを放っていました。冥福をお祈りします。

加藤さんが亡くなる前に、加藤さんの盟友でYKKメンバーの一人だった山崎拓さんが「YKK秘録」という本を出しました。私が取材していたころのこと書かれていて懐かしく読んだところ。山拓さんはしっかりとメモを残しており、それに基づいて「秘録」を著したと冒頭、書いています。ところが、週刊誌の最新号によると名前が出ている記者が「自分はその会合に出ていない」と訂正を求めて第2版から彼の名前が削られたそうです。それは別にして私が見ても自分に都合の良いことは省かれているようで、いかにも山拓さんらしいなと思いました。本日の卓話テーマですが、一度は「YKK秘録の虚実」にしようかとも考えました。しかし、それでは与えられた時間に収まりそうもないし、なにぶん昔のことなので皆さんが退屈だろうと考え諦めた次第です。

今、お話するように私の会社人生は、ほとんどが編集部門勤務でした。今回、帯広支社長になって編集・報道だけでなく、営業、販売、事業も担当します。帯広に来て3カ月、食べ物も美味しく十勝のことを大変気に入っています。これからもいろいろ教えていただければと思います。どうかよろしくお願いします。ご清聴ありがとうございました。



■ビジター紹介

- ・米山カウンセラー 佐藤 幸宏 様(帯広南RC)
- ・RI第2500地区米山記念奨学生 崔 楊 様(帯広南RC)

■会務報告 工藤 大輔 幹事

- ①2016—17年度地区大会開催のご案内
10月21日(金)～22日(土) 2日間
第1日目(10/21)
記念親睦ゴルフ大会 8:30～ 北見カントリークラブ
第2日目(10/22)
受付登録 8:30～ 北見市民会館
本会議 9:00～18:00
(昼食 12:00～13:00)
大会記念大懇親会 18:30～20:00 ホテルベルクラシック北見
- ②帯広西RC、夜間移動例会開催のご案内
日 時 9月29日(木)午後6時30分
場 所 夢 人
- ③帯広北RC、9月30日(金)の例会は、休会と致します。
- ④帯広南RC、移動例会開催のご案内
日 時 10月9日(日)午前8時40分
場 所 帯広の森市民プール スインピア
※尚、10月3日(月)の繰下げ例会と致します。
- ⑤帯広南RC、10月10日(月)の例会は、祝日のため休会と致します。

■委員会報告

・ニコニコ献金

横山 聡 会員

本日卓話をさせていただきます。

高道 伸 会員

本日卓話をさせていただきます。

よろしく願いいたします。

川上 義史 会員

本日のプログラムを担当させていただきます。

加藤 健吾 会員

十勝高校への出前授業を始めました。経済の仕組みや十勝の強みを分かりやすく伝えていければと考えています。

・ご結婚記念日祝い

佐藤 幸宏 会員 山本 健一 会員 三浦 啓徹 会員

■出席報告

9/28例会の報告 会員総数92名 内免除会員3名 出席者51名

9/14例会の報告 メークアップを含む出席者数76名 出席率83.5%

■次週プログラム予定

10月5日(水)「米山記念奨学生卓話」

RI第2500地区米山記念奨学生 ティアナ ナバロナ ランドリアナントアンドロ 様



↑携帯サイトが
できました。
バーコードリー
ダーで読み込む
事ができます。

例会日 / 水曜日 12:30 ～ 13:30

●創立 / 昭和 10 年 3 月 15 日

●事務局 / 帯広市西 3 条南 9 丁目 経済センタービル 4F

●発行 / クラブ広報

●委員長 / 高原 淳 副委員長 / 野村 一仁

委 員 / 木村 裕氏・池田 健太・加藤 健吾・小林 光樹・高橋 博樹・横山 聡

●ホームページアドレス / <http://www.obihiro-rc.jp>

例会会場 / ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234

●認証番号 / 3820 ●戦後再開 / 昭和 25 年 12 月 19 日

●事務局 / 帯広市西 3 条南 9 丁目 経済センタービル 4F TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033

●発行 / クラブ広報

●委員長 / 高原 淳 副委員長 / 野村 一仁

委 員 / 木村 裕氏・池田 健太・加藤 健吾・小林 光樹・高橋 博樹・横山 聡

●ホームページアドレス / <http://www.obihiro-rc.jp>